



自身のセクシュアリティ(性のありよう)を明らかにして講演活動を行っている

おく ゆい か

奥 結香さん

・SOGIE サポートチームココカラ！ 共同代表(2017年～)

・NPO 法人 テト カンパニー TetoCompany 理事長

1

性的マイノリティへの理解は進んでいると思いますか？



性的マイノリティが身近にいるという前提がない社会なので、自分の近くに当事者がいるという意識がなく「あの人はゲイらしいよ」と噂を聞くことがあったり、「それってレズ？(笑)」とからかいの対象にされたりする現状がまだまだあります。2018年にSOGIEサポートチームココカラ！で実施したアンケート調査※の、【性的マイノリティであることで今まで困ったことについて】という項目でも「周りの人との関係が壊れるのが怖くて言えない」「苦しくて自殺を図った」「同性と付き合っているのをカミングアウトしたら親との縁がきれた」などの回答もありました。
性別に関係なく制服を選択することができる学校が増えたり、「LGBT」という言葉が浸透していたりと社会の変化を感じますが、十分ではないと思っています。



※大分県在住の性的マイノリティの方 大分県に住んでいたことのある性的マイノリティの方を対象



異性愛が規範とされている社会の中で、「彼氏はあるの？」「どんな男の人がタイプ？」「結婚は？」などと聞かれるたびに、何も言えずにごまかしたりする状況になっていました。また、私自身に大切な人(同性)ができた時に、その存在を周囲に隠すこと自体に違和感

を持っていました。

カミングアウトすることは怖いことで、友だちや家族から拒否されるかも…という不安はとても強かったです。ですが、今後も繋がっていく大切な友だちや家族に本当のことを知ってほしい、大切な人のことを伝えたい…そのような気持ちが上回り、私はカミングアウトすることにしました。

2

自分のセクシュアリティをカミングアウトした(打ち明けた)のはなぜですか？



3

講演活動を始めたきっかけは何ですか？



私自身が性的マイノリティの当事者の一人として悩んだ過去がありました。自分自身が周囲にカミングアウトをしたことで「実は私も…」と、これまで繋がっていた人からの相談が増えました。その時に、「性的マイノリティであることで生きづらさを感じる人がこんなにもいるのだ」ということに驚きと憤りを覚え、同じように感じる人が一人でも少なくなりたい、どのような人でも自分らしく生きることができる社会にしていきたいと思うようになりました。そのためには、啓発活動が必要だと感じたのがきっかけです。テレビの中の話ではなく、身近な問題であるという意識を持っていたら…という思いで講演活動を続けています。



の思いを～

4 他人の性自認や性的指向などを本人の許可なく、他人にばらしてしまう「アウトティング」が問題になっていますが、どう思いますか？



「アウトティングは命にもかかわる問題である」という意識が必要です。アウトティングによって、自分が思う人生を描けなくなった人もいます。本人からセクシュアリティをカムフラウトされても勝手に他の人に言わない、うわさなどで聞いても広めない、という気持ちをもっていただきたいです。



自分のセクシュアリティを誰にも言わずに生きていくという選択もできたと思います。でも、その選択をしていたら「セクシュアリティを知られたら自分の周りには誰もいなくなる」とネガティブに考えて生きてきたかもしれません。“自分にできることをする”と決めた結果、自分のセクシュアリティを社会にオープンせざるを得なくなった・・・という複雑な想いもありますが、今はそのままの自分を認めることができ、自分のことを好き!と言える生き方ができています。家族や周囲の友だちもセクシュアリティのことを知った上で一緒に過ごしてくれているので気持ち的にも楽になりました。過去の自分のように誰かを信じることができずに生きるのではなく、人の温かさを感じながら生きることができている今がとても幸せだと思います!



5 今の自分をどう思いますか？



6 今の生き方を家族はどう思っているんですか？



どう思っているのでしょうかね…。直接聞いたことはありませんが、応援をしてくれていると思います。過去にはセクシュアリティが理由で母と言い合いになったことがたくさんありました。お互いを理解し合うのに10年間程かかりました。社会も今ほど寛容ではなかったこともあり、母も一人で悩んでいたのではないかと思います。今は、このような活動をするのに対して「あなたのマイナスにならなかつたらいいと思う」と言ってくれ、パートナーに対しても「家族のようなものだから」と、食事に誘ってくれたり家族で集まる時にも声をかけたりしてくれます。パートナーの性別は関係なく、人として見てくれているのではないかと思います。母には感謝しかありません。



奥さんがこれまでの経験を話してくれたから、感じたことや考えたことなどが分かったよ。でも、話せない人もいるよね。そして、その人たちもそれぞれに感じたことや考えたことがきっとあるはず…。自分のことを話したい!と思った時に話せる社会がいいよね。そのために、偏見や差別をなくしていこう!!

